



井川小学校 学校報

平成 29 年 1 月 27 日
第 25 号

学校教育目標

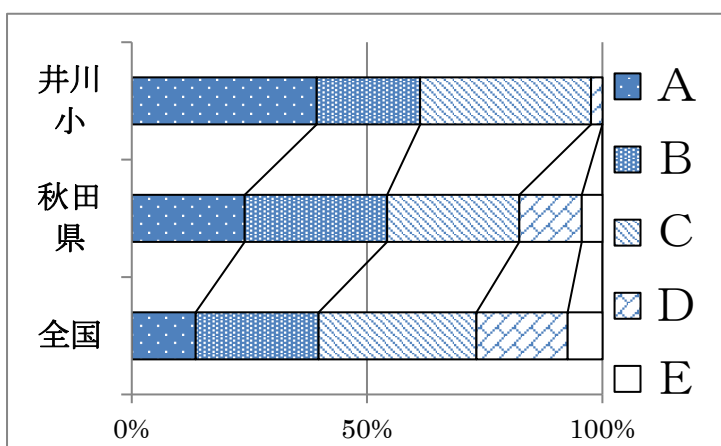
豊かな心をもち、共に考え、自ら高めていく子ども



みどりの風

平成 28 年度全国体力・運動能力調査(5 年生)の結果から

◇ 総合評価(よい方から ABCDE の 5 段階で評価)



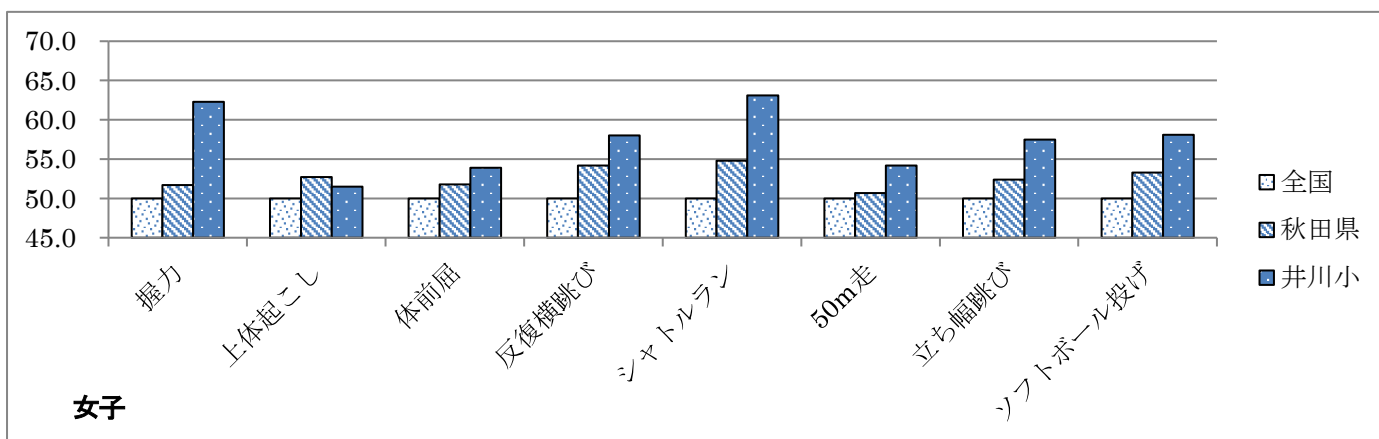
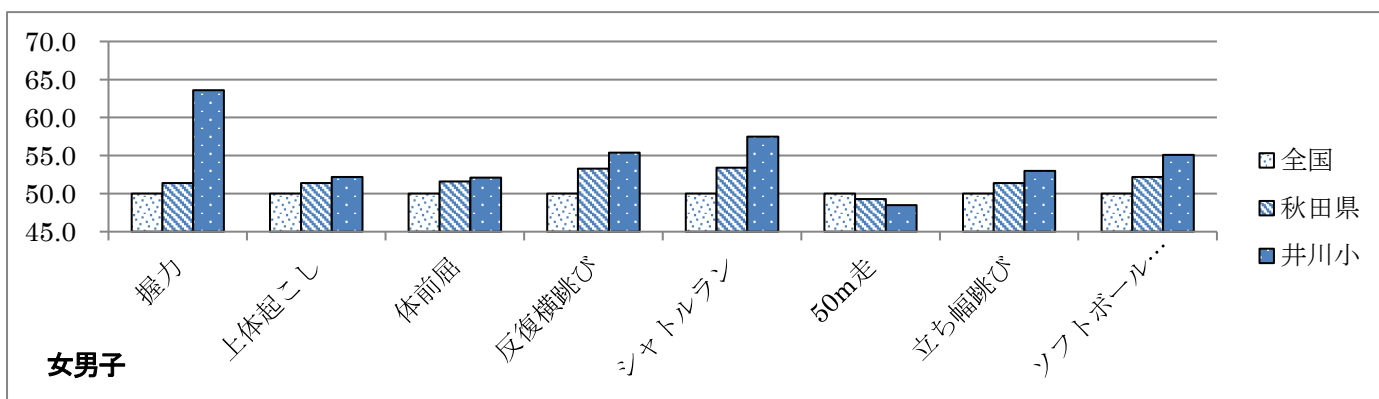
今年度の全国体力・運動能力等調査結果が 12 月初旬に発表され、本校の結果が送付されてきました。

この調査は、5 年生男女の握力など 8 つの体力テストの状況を把握して今後の体育指導に生かしていこうというものです。

左にある本校の総合評価では、A、B が 6 割近くになり、秋田県や全国の平均を大きく上回っていることが見て取れます。

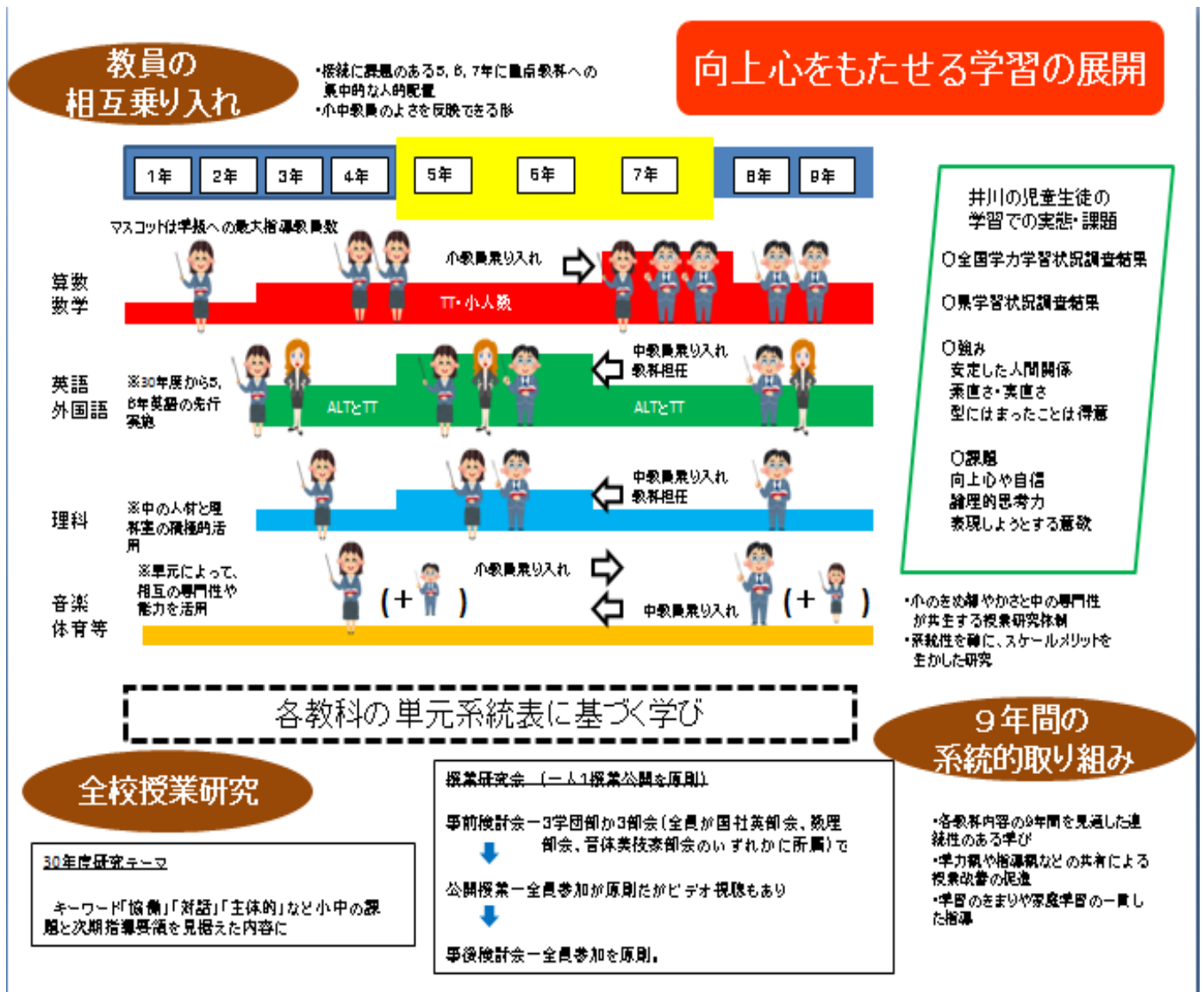
また各種目でも、男子が 50M 走以外で秋田県や全国を上回り、特に握力では 1.5 P 近くも上回りました。女子では上体起こしで秋田県を下回ったほかは、全てで全国や県の平均を上回り、握力、シャトルラン、ソフトボール投げなどで 1.0 P 近く上回りました。今後とも、こうした良好な結果を受け、さらに体力がつくような取り組みを進めてまいります。

◇ 種目別結果(全国を 50 として、秋田県、本校を比較したもの)



井川義務教育学校ってどんな学校？（第2回）

第2回は学習についてです。学習内容については国が定めている学習指導要領にそって実施しますが、学習方法や体制については、義務教育学校ならではの特色を次の通り計画しています。なお、お知りになりたいことがありましたら、本校教頭までご連絡ください。



Q 義務教育学校になると、子どもたちに力がつくようになるのですか。

A 本町の子どもたちは誠実さや実直さが長所ですが、伸びようとする意欲が課題です。そのため、学習内容に大きな段差のある5年生から7年生までの3年間に集中的に教員を配置して、子どもたちの向上心を高めたいと考えています。

Q どうして算数や英語、理科が中心なのですか。

A 算数や理科についてはつまずきの見られる子どもにいていかに指導することが意欲の上昇につながります。できるだけ小人数で学習ができるよう、2～3人の配置を行います。また英語は小学校で教科として平成32年から実施される予定ですが、本校では30年から先行して教科として扱う予定であり、人数を手厚く配置しました。

Q 特色があるのは5年生から7年生までですか。1年～4年や8, 9年生はどうですか。

A 全校の先生がわかる授業をすることが、子どもたちの伸びにつながります。そのためには先生方の授業力をつけることが重要であり、全教員が参加する授業研究会を何度も行って、小学校の先生方のていねいさと中学校の先生方の専門的な力の両方を兼ね備えた教員に全部の先生がなれるようにと考えています。